

平市公報

第廿八號

昭和十五年七月十五日

告示

告示第二二號

市參事會ノ議決ヲ經タル昭和十五年度歳入出追加豫算ノ要領左ノ如シ

昭和十五年七月五日

平市長 青 沼 鋒 太 郎

記

昭和十五年度平市歳入出追加豫算

歳 入

一金七百參拾四圓

一金五拾九萬八百五拾貳圓

合計金五拾九萬壹千五百八拾六圓

歳 出

一金六百六拾參圓

一金參拾四萬五千七拾五圓

一金七拾壹圓

追加豫算高
既定豫算高

經常部追加豫算高
同 既定豫算高
臨時部追加豫算高

一金貳拾四萬五千七百七拾七圓 同 既定豫算高
經常部臨時部合計金五拾九萬一千五百八拾六圓
歳入出差引殘金ナシ (別表略)

告示第二二號

市參事會ノ議決ヲ經タル昭和十五年度特別會計歳入出更正豫算ノ要領左ノ如シ

昭和十五年七月五日

平市長 青 沼 鋒 太 郎

記

歳 入

一金ナシ

一金貳萬參千八百五拾圓也

歳 出

一金ナシ

一金貳萬參千八百五拾圓

一金ナシ

更生豫算高
既定豫算高

經常部更生豫算高
同 既定豫算高
臨時部更正豫算高
同 既定豫算高

經常部臨時部合計貳萬參千八百五拾圓
歲入出差引殘金ナシ (別表略)

辭 令

六月二十五日 退職給與金四百四拾壹圓給與 元平市書記 渡 邊 源 彌

六月二十七日 書記ヲ命ス給八級上俸

六月三十日 財務課勤務 高 木 武 志

六月三十日 書記補ヲ命ス月俸四拾參圓

書記補ヲ命ス月俸參拾七圓 雇 吉 成 朝 重

七月十三日 雇ヲ命ス月俸四拾圓給與

工務課水道係勤務 鈴木 憲 吾

依願解職

退職給與金貳百拾七圓給與 書記 櫻 庭 孝 一

區長代理者異動

市内第三十區(中平窪) 區長代理者欠員中ノ所本月四日市參事會ニ於テ左記ノ者推薦決定シタリ

第三十區々長代理者 藁 谷 藤 太 郎

夏季執務時間延長

七月二十一日ヨリ八月三十一日迄ハ時局ニ鑑ミ左記ノ通執務スルコト、ナリ其旨各區長ニ通牒セリ

記

自七月二十一日至八月三十一日 午前八時ヨリ午後四時迄
但土曜日ハ正午迄トス

表 彰

表 彰 狀

平市書記 江 尻 幸 平

多年徵稅事務ニ從事シ其ノ功績勳カラス依テ記念品ヲ贈リ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和十五年五月三十一日

石城稅務協會會長福島縣屬勳八等 吉 田 榮 作

紀元二千六百年統後奉公祈誓式

紀元二千六百年奉祝統後奉公祈誓大會は六月十九日午前九時三十分より縣社子歛會神社々前に於て開會各官衙、學校、市會議員、各區長、各種團體其の他一般參列嚴肅裡に祈願祭を執行修祓、神官祝詞を奏上し市長代理伊藤助役及參列者代表野崎市會議長玉串の奉奠直に宣誓式に移り増田兵事課長開辭に次で官城遶拜、默禱の後伊藤助役詔書を奉讀して左記宣誓文を朗

讀、菅閣監督判事の發聲に依て陛下の萬歳を三唱散會したり、尙此日は市内各戸に國旗を掲揚し午前十一時三十七分より二分間市内各所のサイレン鐘、太鼓等を合圖に「ラデオ」を通じ秩父宮殿下の詔書奉讀を拜聽し一層感激の念を深ふせり

宣 誓

紀元二千六百年の紀元節に賜はりたる詔書の聖旨を奉體し市民一致協力蹇々匪躬の赤誠を效し益々賢忍持久、滅私奉公の精神を以て銃後の強化に努め時艱の克服に邁進せんことを誓ひ奉る

昭和十五年六月十九日

平市長 從五位 勳四等 青 沼 鋒 太 郎

百二十億貯蓄強調週間實施

政府に於ては六月二十一日より六月二十七日迄一週間を百二十億貯蓄強調を間と決定し貯蓄の強化を圖り以て戰時經濟の運行を確保し時艱の克服に邁進することとなれるを以て市に於ても本週間に於ける實施事項に付研究を遂げ左記の如く各常會、各貯蓄組合、各學校、各種團體、各會社、銀行、商店、工場等に於ける實施すべき事項を強調し百二十億貯蓄の趣旨徹底を期すと共に其の實績を擧げ本運動目的達成に邁進することとせり

各常會に於て實施すべき事項

- 1 貯蓄組合の組織獎勵擴充に努むること
- 2 既設貯蓄組合の貯蓄額の増加組合員の増加々々入獎勸國債、貯蓄債券

平市公報 第廿八號 昭和十五年七月十五日 (毎月一回十五日發行)

の換價防止に努むること

貯蓄繼續の勵行

皇紀二千六百年奉祝紀念貯金、誕生紀念貯金、結婚紀念貯金、入學紀念貯金、就職紀念貯金等の新規貯金獎勵及幹旋に努むること

各貯蓄組合に於て實施すべき事項

- 1 町内會開催等の際は前月の實績を審議し之を當月の參考とすること
- 2 貯蓄率を引上げると共に申請的な少額の貯蓄組合に在りては更に此の度再検討の上一段の改善に努め増額運動をなすこと
- 3 組合貯蓄を以て國債、貯蓄債券等の購入に努むること

各學校に於て實施すべき事項

- 1 講堂訓話、教室訓話其の他の方法に依り百二十億貯蓄の必要なる所以を兒童生徒に徹底せしむること
- 2 作文、習字等を教材に本運動を取入れて趣旨の徹底を圖ること
- 3 貯蓄組合を結成すると共に其内容を整備充實し積極的活動を促進すること
- 4 生徒兒童の廢品蒐集による貯蓄に努むること
- 5 小使錢の貯蓄に努むること
- 6 農繁期の勤勞所得を貯蓄せしむること

各種團體に於て實施すべき事項

- 1 廢品回收班を組織し其の得たる金額を貯蓄すること
- 2 節酒、節煙を勵行し之を貯蓄に振向けること
- 3 勤勞奉仕に依りて得たる所得を貯蓄すること

各會社銀行商店工場に於て實施すべき事項

- 1 貯蓄増加目標額を設定し速に之が達成の爲具體的計畫を樹つること

- 2 貯蓄組合は貯蓄獎勵上の核心をなすを以て必らず之を設置し既設の組合にありしは組合の充實強化を圖り所得増加の者は其の金額を必ず貯蓄せしむること
- 3 賞與、期末手當、臨時手等に付ては特に高率貯蓄の實行に努め之が支給に當りては國債、貯蓄債券等を以て支給すること
- 4 前項により支給したる債券等は絶対に換價せざる様努むると共に代表者は無料保管の實施を圖ること

支那事變三周年記念行事

七月七日は支那事變勃發三周年に當り内外の情勢益多事多難なるに鑑み支那事變一周年に賜はりたる 勅語紀元二千六百年紀元節に當り賜りたる 詔書の聖旨を奉體し舉國一致時局に對處し億兆一心時艱を克服するの國民的決意を固め東亞新秩序建設の國家的使命に邁進すると共に奉公の誠を致し以て御慮を安んじ奉らんことを期する爲左記方法に依り支那事變勃發三周年行事を實施したり

- 一、當日各戸一齊に國旗を掲揚す
- 二、各家庭に於て黎明に起床し一家揃つて皇太神宮を奉拜し皇室の御安泰を祈り奉ると共に國威の伸張を祈念をなす
- 三、當日正午を期し各々其の左處に於て戰歿將兵の英靈を追悼し出征將兵の武運長久を祈願す
この爲同時刻にはサイレン、鐘等を用ひ周知す
- 四、官公署、學校、各種團體、會社、銀行、工場等に於ては支那事變一周年に賜りたる 勅語並に紀元二千六百年紀元節に賜りたる 詔書の捧讀式を舉行す

- 五、當日の紀念會合に際しては此の日を期し申合せを爲し特に能率増進増産の勵行、銑後々援、節米實踐、貯蓄實行等の徹底に努む
- 六、戰歿者の墓參を爲す
- 七、戰歿者の遺族及出征軍人家族の慰問を爲す
- 八、市に於ては支那事變三周年紀念式を左の通舉行市民各種團體多數參列す

- 1 公會堂に於ける紀念式 七日午前八時
 - 2 縣社子歛會神社祈願祭 // 午前九時十分
 - 3 縣社飯野八幡神社祈願祭 // 午前九時十分
- 紀念式後二班に別れ兩縣社祈願祭參列す

- 九、事變紀念講演會
午後二時より公會堂に於て陸軍歩兵中佐高山正一殿の講演會開催市民多數聽講盛大裡に閉會す

國民精神總動員運動協議會

平市に於ける國民精神總動員運動協議會は興亞奉公日たる七月一日午前十時より平市公會堂に於て開催各官衙長、各學校長、各種團體長、銀行、會社代表、市振興委員、市會議員、各區長其の他百數十人參集市長より開會の挨拶、官城遙拜、獻禮に次で會議に入り參集者には縣に於ける國民貯蓄獎勵方策、節米實行方策、興亞奉公日に於ける國民生活其の他支那事變勃發三周年行事實施要綱、平市常會準則案等を協議し更に町常會の強化擴充實踐事項等に就き相互意見を交換し最後に左の申合せをなし散會したり

申合事項

- 一、平市各常會は本縣國民貯蓄獎勵の趣旨に則り貯蓄方策を樹て本市増

- 加目標額三百萬圓達成に努むること
- 一、平市各常會は本縣節米實施要領に基き實行方法を定め各家庭に於て一割以上の節米を實行すること
 - 一、平市各常會は興亞奉公日の實踐事項の實行に努むること
- 昭和十五年七月一日

平市國民精神總動員運動協議會

各種婦人代表協議懇談會

國民精神總動員福島縣本部並農林部國聯盟福島縣支部共同主催各種婦人代表者協議懇談會は七月十一日午前十時より市公會堂に於て開催縣より内藤總務部長其の他係官臨席、市よりは青沼市長外係員出席定刻總務部長の挨拶あり次で縣提出協議事項に就き説明の後懇談を遂げ更に左の申合せをなし午後三時終了散會したり

申合せ事項

- 一、平市各種婦人団体は本縣節米實施要領に基き實行方法を定め各家庭に於ては一割以上の節米を實行しませう
- 一、平市各種婦人団体は本縣國民貯蓄獎勵の趣旨に則り貯蓄方策を樹て本市増加目標額三百萬圓達成に努めませう
- 一、平市各種婦人団体は金を死藏することなく率先之が買上に應じませう

昭和十五年七月十一日

平市國民精神總動員運動婦人協議會

六月中文書收受發送數

庶務	財務	產業	兵務	戶籍	工務	社務	學務	合計
收受	四八〇	一二七	一八七	一三三	二六六	四七	一六四	一五、一四
發送	一六四	八〇	四〇五	四五八	二八五	三二	一五〇二	二〇、五一
計	六四四	二〇七	五九二	五九一	五五一	七九	六二二	三五、六五

六月中戶籍寄留件數

出生	死亡	婚姻	離婚	其他	合計
本籍	三五	二八	四一	四	一〇〇
非本籍	一一	一一	一	三九	六一
計	四〇	三九	四二	四三	一五二

戶籍謄抄本	閱覽	證	計	住所寄留	出寄留届	寄留謄抄本	閱覽	計
二四二	一六	六	二六四	六一	五五	一一六	一七	一三三
二〇								

六月中諸證明件數

種別	件數	料金
印鑑	四九	九、八〇
身分	一二四	二四、八〇
土地建物	六二	一一、五四
公課	一一	二、二〇
其他	二四六	四九、三四
計		

六月中公會堂使用狀況

種別	回数	日數	使用料
有料	一一	一三	九〇、〇〇〇
無料	六	六	
市役所使用			

六月分救護狀況

種別	世帯數	人員	延人員	金額
一般救護	三九	一〇八	三、二四〇	三六三七二
母子保護	一一	二四	三、一〇〇	三六四〇〇
計	五〇	一四三	四、二二〇	四六〇三二

行路病人

昭和十四年度

種別	前年度		本年度		救護廢止	死亡者	現年度末	金額
	人員	救護	人員	救護				
住所詳ナ	一	男	八	二	男	六	一	五
住所詳ナ	一	女	二	一	女	二	一	二
住所詳ナ	一	男	二	一	男	一	一	一
住所詳ナ	一	女	二	一	女	一	一	一
住所詳ナ	一	男	二	一	男	一	一	一
住所詳ナ	一	女	二	一	女	一	一	一
計								

六月中埋火葬

埋葬	死亡		火葬		人員	金額
	計	死産	計	火葬		
計	一四	二	一〇	二	一〇	一七、〇〇〇
甲	一〇	二	七	二	七	一七、〇〇〇
乙	二	一	一	一	二	一、〇〇〇
丙	二	一	二	一	二	一、〇〇〇
計						

傳染病患者

病名	越人員		本月發生		計	入院	全治	死亡	現六月末
	人員	發生	人員	發生					
傷チフス	三	八	一	八	一	八	二	一	八
チフテリア	四	四	一	四	一	三	一	一	四
赤痢	一	一	一	一	一	一	一	一	一
疫痢	一	一	一	一	一	一	一	一	一
猩紅熱	九	二	一	二	一	一	一	一	一
計									

日用品小賣相場

(昭和十五年六月末調)

品名	單位	價額	品名	單位	價額
白米一等	一キロ	三二〇	木炭(楯割)	一貫目	四四〇
同二等	"	三〇五	同(雜丸)	"	四三〇
同三等	"	三〇〇	砂糖(白)	百匁	一八七
白麥	"	一九〇	同(赤)	"	一六八
平麥	"	二四五	同(黑)	百匁	一七八
味噌(並)	一貫目	八五〇	豚肉(上)	百匁	六〇〇
醬油(〃)	一貫目	五〇〇	同(並)	"	六〇〇
清酒(〃)	一升	一、九〇〇	牛肉(上)	"	六〇〇
木炭(楯丸)	一貫目	四六〇	同(並)	"	四〇〇

公益質屋事業成績

職業	貸付状況	質物種類	口數	貸付状況
職業者	九	債	一七	二四
勞働者	二六	家	一八	四四
俸給者	三	衣	一七	四六
小工業者	三	裝	一七	一七
小商人	三	身	一七	一七
農業者	三	具	一七	一七
漁業者	三	類	一七	一七
其ノ他	三	他	一七	一七
計	二六	計	一七	一七
	三〇	金	一七	一七
	三〇	利	一七	一七
	三〇	子	一七	一七

市參事會

七月四日市參事會開會附議事件左ノ如シ

記

- 一、昭和十五年度平市歳入出追加更正豫算ノ件
- 一、同 年度特別會計公益質屋歳入出更正豫算ノ件
- 一、土地買収ニ關スル件
- 一、寄附採納ノ件
- 一、區長代理者補闕推薦ノ件

委員會

- 六月二十八日 工業學校委員會
- 商業學校委員會
- 工業學校委員會
- 商業學校委員會
- 七月三日 警防委員會
- 石炭採掘委員會
- 土木委員會
- 商業學校委員會、工業學業委員會
- 七月四日 商業學校委員會
- 七月十一日 商業學校委員會
- 七月十五日 商業學校委員會

平隣保館建築落成及開館式

平市社會學業助成會經營の平隣保館は此の程建築竣工し五月十四日より幼

兒保育開館中の處六月三十日工事落成式を兼ね開館式を舉行したり、參列者市會議員、區長其他名譽職、寄附者等約二百名

午前九時半より山部神官により祭式を擧げ引續き同十時より開館式舉行所定の順序に依り副會長山崎與三郎氏開式の辭、工事委員長伊藤秀吉氏の工事報告、會長青沼鋒太郎氏の式辭、來賓總代として野崎市會議長の祝辭あり同十一時閉式、次て公會堂日本間に於て茶菓の饗應あり正午後散會したり、當日の工事報告及式辭左の如し

式 辭

平隣保館新築工事成り本日茲に來賓各位の御責臨を忝ふし開館式を擧ぐることを得ましたことは私の最も欣幸とする所であります

抑々隣保事業は隣保相扶の精神に基き環境の改善近隣居住者の教化指導を主眼とするものでありまして各種階層の人々が階級、身分等の懸隔より生ずる對立關係の緩和を圖り交友集會等の機會に於て智識の啓發、品性の陶冶を行ひ又健全なる生活の維持困難なる者に對し適切なる保護の方途を講じ或は必要に應じて救護を施す等精神的指導誘掖に依る社會教育と福利増進を理想とする社會事業に外ならぬのであります

本市は曩に社會事業助成會を設立して隣保事業を助成し主として生活の維持困難なる者に對する保護救濟の途を講じて居つたのでありまするが社會情勢時代の要求はかゝる消極的施設に満足することを許さず

殊に支那事變以來は隣保事業擴充の必要を痛感し先づ福利施設として市民各位の御協力の下に一昨年六月授産場を創設して應召軍人遺家族並物資動員に因る失業者及一般要扶掖者の家族を收容し主として縫製作業並紙管作業を實施して是等家族の生活安定を圖り昨年六月授産場を新築して陣容を新にし以て今日に及したのでありまするが更に授産施設と密接不離の關係にある幼兒保育の必要に迫られ隣保館の建設を企圖し爾來照當局の懇切な

る指導斡旋と恩賜財團軍人援護會並三井報恩會の助成及本事業に理解ある市民各位の絶大な御援助に依り本年一月廿五日工を起し爾來請負者の犧牲的精神と本會役員の熱誠なる御盡力とに依りまして工事の竣功を見、本日落成式を兼ね開館式を擧ぐるに至りましたことは本市隣保事業のため誠に慶祝に堪へざると共に本館建設のため御指導を賜りたる縣當局助成團體並市民各位及工事關係者に對し深甚なる謝意を表するものであります

竣工したる隣保館は御覽の如く小規模であり構造亦輪奐の美はありませぬか通風、採光其の度に適ひ環境閑靜にして保育上絶好の適地でありまして之に配するに人格的な優良なる職員を以てせば幼兒の幸福之に過ぐるものなく將來市民の利用多るべきを信するものであります

今や時局は愈重大性を加へ益人的資源の愛護を緊要とするの秋職を本館に奉ずる者深く思を茲に致し隣保館設立の趣旨を體し協心戮力、幼兒保育の目的を達成し市民の期待に副はんことを念願すると共に市民各位の絶へざる御援助と御指導を賜はらんことを切望して已まぬ次第であります

本日開館式を舉行するに方り一言以て式辭と致します

昭和十五年六月三十日 平市社會事業助成會長

平市長 青沼鋒太郎

工事報告

本日茲に平隣保館新築落成式を擧ぐに當り工事の概要を報告致したいと存じます

本市に於ける隣保事業は社會事業助成會の活動に依り救護事業のみを實施し來りたりも時代の進運に伴ひ之が擴充強化を痛感せし折柄本市篤志家山崎與三郎氏より先代の遺志に依り隣保館建設資金として金一千圓外に敷地

として田地一反歩を寄付せられ茲に於て社會事業助成會は年來の懸案たる隣保館を建設すべく奮起し授産場をも併置すべき計畫の下に市内宇三崎町四十二番地を該敷地と決定し山崎氏寄附田地の隣接地たる山崎サト氏所有地百五十坪を買収し之に平市小學校基本財産たる田地五百坪を借受け金三千六百五十四圓を以て佐々木健一郎氏に埋立工事を請負はしめ明治十四年三月竣工せり、然るに偶々支那事變に伴ふ物資動員の影響に因る失業救済の必要生じ隣保館に先立ち急遽授産場を建設することに決したるを以て敷工地の西部に工費參千六百七拾參圓を以て堀江業株式會社に請負はしめ昭和十四年五月竣工爾來授産作業實施しあり而して本館建築工事は同年十一月二十八日工費金壹萬壹千貳百八拾圓を以て堀江業株式會社に請負はしめ同十二月十一日地鎮祭を執行、本年二月二十日棟式を擧げ同月二十日を以て工事を竣へたるものにして此の間本會役員交互工事を監督々勵に努め以て工事遺憾なきを期した次第であります

而して本隣保館は總建坪八拾五坪二合五勺、内事務室四坪、保姆室並診療室七坪五合、保育室拾五坪、遊戯室參拾坪、使丁室四坪其の他玄關、廊下炊事場、物置、幼兒昇降口、便所等貳拾四坪七合五勺でありまして規模は敢て大ならず構造亦輪奐の美はありませぬが通風、採光及危害防止に留意し保育上遺憾なきを期した次第であります

工事計畫以來今日の盛事を見るに至りたは是偏に監督官廳の懇篤なる指導と助成團並來賓各位の御援助の賜でありますとは共に本會役員熱誠周到なる指導監督と工事請負者の犠牲的精神を以て奉仕せられたる結果でありまして茲に深甚なる謝意を表し御報告申上る次第であります

昭和十五年六月三十日

平市社會事業助成會副會長

平市助役 伊 藤 秀 吉

平市社會事業助成會概要

- 一、事務所 平市役所社會課内
- 二、事業所 授産場 平市宇三崎四〇番地
隣保館 同 四二番地
- 三、目的 本會は平市社會事業を援助し市民生活の安定向上を圖るを以て目的とす
- 四、組織 會員組織にして區分左の如し
 - 1 名譽會員 一時金百圓以上齎出者
 - 2 特別會員 年額五圓づゝ齎出者
 - 3 正會員 年額貳圓づゝ齎出者
 - 4 贊助會員 年額壹圓づゝ齎出者
- 五、事業 (主なるもの)
 - 一、生活改善に關する事項
 - 二、教化指導に關する事項
 - 三、生活困難者の保護救済
 - 四、授産事業
 - 五、幼兒保育事業
- 六、役員

會長	平市長 青沼鋒太郎	方面委員	山崎興三郎
副會長	平市助役伊藤 秀吉	方面委員	猪狩 庄平
理事	方面委員猪狩 庄平	社會課長	四家久末治
評議員	方面委員門傳 清吾	社會課主任	佐藤平吉
"	大森 勇	同	清水 廣政
"	小宅嘉久治	同	大谷 武雄
"	佐藤 榮吉	同	松崎菊三郎
"	遠藤 心光	同	岡田 千藏
"	"	同	小野金太郎

一、鏡後家庭強化懇談會開催に關する件

仲間町郵便局開始

仙臺逓信局指定新設平仲間町郵便局は六月二十一日より開局一般事務取扱開始せらる郵便局位置及局長氏名左の如し

位置 仲間町三八番ノ一
局長 渡部 齊

農繁期托兒狀況

昭和十五年農繁期托兒所は市内九品寺及舊平城内に三ヶ所の託兒所を開設し各係員熱心之に當り良好なる成績を擧げたり其の狀況左の如し

託兒所	期 間	日數	實人員	延人員
九品寺託兒所	自 六、一五 至 六、二五	一五	一一二	一、六八五
平達保育所	〃 〃 六、二二 〃 〃 六、二五	一四	一八一	二、五四〇
計		二九	二九三	四、二二五

平達保育所は本所、中庭、上平達分所とす

昭和十五年七月十五日

發行所 平 市 役 所

發行人 青 沼 鋒 太 郎

福島縣平市長橋町三五番地

印刷者 川 崎 文 治

福島縣平市長橋町三五番地

印刷所 常磐毎日印刷株式會社

電話 六三〇番

